

# 建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい 検討委員会 第3回資料(案)

---

建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがいの向上を図るための取組みや施策の展開等を検討することを目的に、有識者委員及び関係団体、行政機関が参画する「建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会」を設置

## 《開催経緯》

第1回(H30.11.20) : 委員会の設置、建設現場の現状と課題、関係団体等の取組み、今後の進め方

第2回(H31.2.19) : これまでの取組に対する考察、「誇り・魅力・やりがい」の向上に必要な視点、今後の取組方針(案)

## ○委員構成

有識者	田中 里沙(事業構想大学院大学学長、委員長) 野中 賢((株)日経BP 日経コンストラクション編集長) 藤沢 久美(シンクタンク・ソフィアバンク代表) 山崎 晴太郎((株)セイトロウデザイン代表) 渡邊 法美(高知工科大学教授) ※敬称略
関係団体	全国建設業協同組合連合会 (一社)全日本建設技術協会 (一社)日本建設業連合会 (一社)建設産業専門団体連合会・(一社)日本建設躯体工事業団体連合会 (一社)全国建設業協会 佐賀県建設業協会 (一社)土木技術者女性の会



第1回開催状況(平成30年11月20日)

# 第1回、第2回委員会での検討内容

## 第1回 建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会 議事要旨

1. 開催日時：平成30年11月20日（火）13:30～15:00
2. 場所：中央合同庁舎第3号館 4階特別会議室

主な議論の内容は以下の通り

- 建設現場で働く人々の「誇り・魅力・やりがい」の向上に向けた取組を行うに当たっては、一般の人を建設業界へ流入させ、流出させないことが必要。
- 土木という仕事の特性上、世の中に評価される時期と働いている時期が異なるため、見える化自体が難しい。
- 建設業界には、UI (User Interface) と UX (User Experience) という、ユーザーと情報の接点、またそれを通じて得られる体験価値の視点が不足している。
- 各団体等で行っている様々な取組自体が、点になっている印象がある。例えば、各取組をオープンソース化した、プラットフォームを作ってはどうか。
- 建設の魅力は、ダイナミックさ、社会貢献につながっていること、意外と新しいことだと考えている。しかし、一般の人々と建設業従事者の社会貢献に対する意識差は大きい。また、建設業界で ICT 技術、ロボット等が活用されていることは、一般の方に伝わっておらず、広く伝えていけるとよい。
- 広報活動には、外向け、中向けとあるが、中の方のモチベーションを上げていく取組みだけでなく、外向けに取り組んでいくことが中の方たちのモチベーションにつながり、相乗効果をもたらす。

以上

## 第2回 建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会 議事要旨

1. 開催日時：平成31年2月19日（火）16:00～18:00
2. 場所：中央合同庁舎第3号館 4階特別会議室

主な議論の内容は以下のとおり

- 建設業界に必要なのは、従来のイメージを上書きする「リブランディング」に集約されるのでは。リブランディングでは、「人命と財産を守る」といった思想（精神）と哲学がなければ、戦略がなく戦術だけになってしまう。そのため、技術者・技能者の思想と哲学を明確にし、各者のこれまでの取組を戦術として、戦略を立てていくといいのでは。
- 個別に取り組まれている事例を分類・整理して、セグメント化することで取組を結びつけたり、水平展開したりするなど、各者が取り組みやすくすることが有効ではないか。
- 魅力向上に向けた施策では、処遇の改善（所得や資格など）が重要である。それにより業界の就職者が増え、社会保険加入の促進等の好循環も期待できる。海外の技術者・技能者には、処遇の良さがやりがいにつながっている事例もある。
- 施策のターゲットについて、学生の進路に影響力がある母親を設定すると有力だと思う。また、子供や学生の場合は、建設業への理解を深めてもらう取組を、学校教育に組み込んでほしい。

以上

# 有識者、関係団体へのヒアリング結果(概要)

## 主なヒアリング内容

- ・これまでの取組み事例
- ・具体的な**施策の提案**(これまでの取組みの**発展形**、新たな**連携・融合型** など)
- ・**アイデア**や**要望**(新たな取組み→仮囲いの活用など)
- ・**広報戦略**(オール建設関係団体のプラットフォーム、協働体制など)

## ヒアリング結果の概要

### ○藤沢委員 3/27(水)

- ⇒映像等を作成する必要性
- ⇒外国人労働者について触れる必要性

### ○日建連、全建 2/5(火)他 災害時の広報、統一的な着用物について意見交換

- ⇒既存の取組み(ビブス)との整合
- ⇒直轄のテックフォースと自治体、災害協定による支援活動と企業ボランティアの区分 など

### ○建専連 3/12(火) 第1回委員会で紹介以外の取組み事例

- ⇒技能者の評価(キャリアアップ)と処遇の改善
- ⇒担い手の確保として、校長会との連携が有効

### ○全測連 3/12(火)

- ⇒各県の測協で具体的な取組みを実施中

### ○全中建 4/4(木) 課題:若手技術者が流出し、入職意欲が低下していることが課題

- ⇒品質確保や適正な企業間競争のために、ルールを設ける必要
- ⇒「誇り・魅力・やりがい」のガイドライン作成、「誇り・魅力マーク」の現場掲示、仮囲い中の可視化 等
- ⇒災害時等のビブス色の統一により、世間にアピールできるようにしたい

# これまでの経緯と今後のスケジュール

建設現場を取り巻く状況

第1回 H30年11月20日

「誇り・魅力・やりがい」の向上に取り組む必要性

「誇り・魅力・やりがい」の概念

第2回 H31年2月19日

これまでの取り組みに対する考察

「誇り・魅力・やりがい」の向上に必要な視点

「誇り・魅力・やりがい」向上にむけた取り組みの方向性

具体的な取組の代表事例

提言の構成(案)

第3回 R元年5月21日(今回)

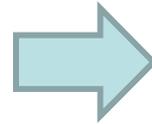
「誇り・魅力・やりがい」の向上にむけた提言書の策定

第4回 R元年6月中(予定)

# 前回の委員会での議論

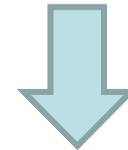
現場に携わる一人一人が  
自覚すること

- 自分がどんな仕事をしているのか
- その仕事が地域の人々や世の中のどんな役に立っているのか



自分の仕事の

- 「誇り」
- 「やりがい」につながる



建設現場の

- 「魅力」の向上につながる

||

自分の仕事の「思想と哲学」(=「理念」)を持つことが必要

建設現場に携わる一人一人が  
「理念」を持つための手がかかり

○仕事に参加しているみんなが  
共有できる価値観の提示と共有

(例) 東ハトブランドブック  
『お菓子を仕事にできる幸福』

## 1. 建設業のリブランディング

○世の中にとっての建設業の存在価値とは？

○「理念」を自覚するきっかけとなるもの(例: イラスト、写真etc.)の提示

有識者へのインタビュー等  
を通じてたたき(案)を検討

建設業の価値  
「理念」を自覚するきっかけ  
となるもの

共有

## 2. 「理念」の自覚



- 自分がどんな仕事をしているのか
- その仕事が地域の人々や世の中にどんな役に立っているのか

## 3. 「価値」「理念」に基づく戦略の立案

①現場従事者  
(外国人含む)

②現場周辺  
住民

③利用者

⑥国民

⑤学生  
(将来を担う)

④家族  
(従事者を支える)

「価値」・  
「理念」

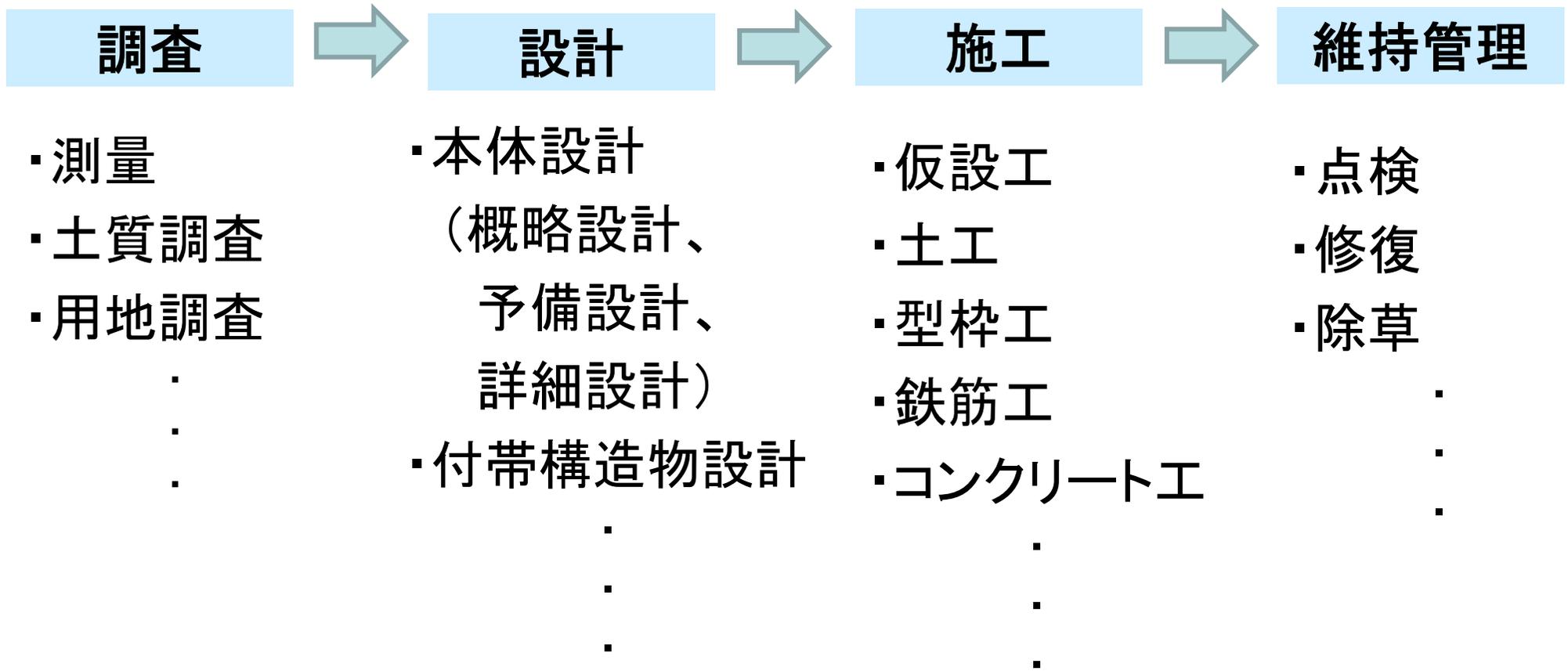
戦

略

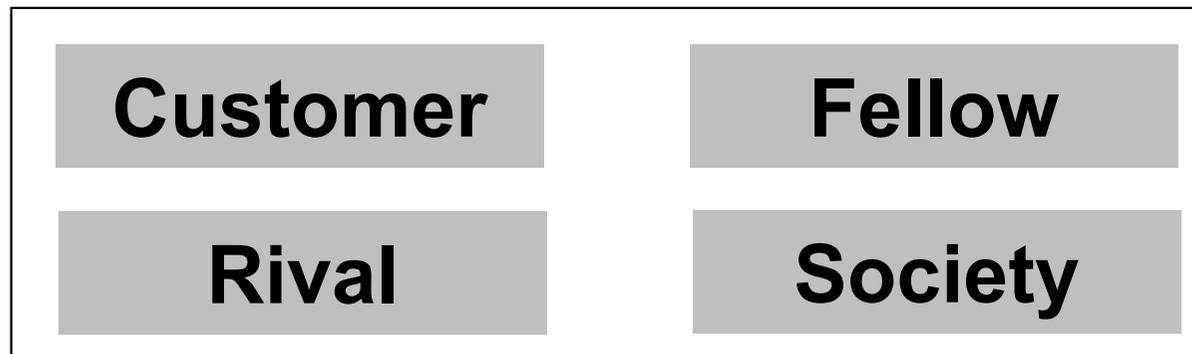
- ・ターゲット
- ・コンテンツ
- ・ターゲットとの情報の接点etc.



※イラスト出典(フリー素材):  
<https://www.irasutoya.com/>



(ステークホルダー(ターゲット)のイメージ)



## 4. 統一的、継続的な取り組みのための 体制整備（推進体制の構築）

- 建設現場の「価値」の共有
- 建設現場で働くことの「理念」の自覚
- 「価値」「理念」に基づいた戦略の立案
- 戦略に基づいた統一的な取り組みの実施
  - ・全国展開の施策
  - ・UI/UXの視点を踏まえた検討
- 取り組みの振り返り

## 「誇り」とは・・・

一般市民に対して胸を張れること

## 「やりがい」とは・・・

働く人が仕事を通じて満足できること

## 「魅力」とは・・・

一般市民が、働く人の「誇り」や「やりがい」を感じ、好意的な関心を持つこと

# 現場で働く技術者にとっての思い（技術者スピリッツ）

	技術者の思い
誇り (Pride)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○形が残っていくことに達成感があり、やりがいと誇りを感じる。</li> <li>○<u>地域の皆様に世代を超えて安全・安心を届け、「便利になった！」と言われる「モノ」造りを目指す。</u></li> <li>○<u>地元の工事に関われていることを誇りに思う。</u></li> <li>○<u>地域の方々の安全・安心を守り、社会に貢献できる誇り。</u></li> </ul>
やりがい (Motivation)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>形が残り、地域貢献が出来る仕事がしたい。</u></li> <li>○<u>形が残っていくことに達成感</u>があり、やりがいと誇りを感じる。</li> <li>○工事に携わる多くの人と造ったものが、<u>そこで暮らす人々の役に立つことへの喜び。</u></li> <li>○「忙しさ」がやりがいに。</li> <li>○<u>責任ある立場を任せ、現場の見方が変わった。</u></li> <li>○<u>地図に残るものづくりに携わってるので毎日が充実。</u></li> <li>○<u>ビッグプロジェクトを成功に導く一員</u>になれるのが。この仕事のやりがい。</li> <li>○無事に開通出来たときの達成感。</li> <li>○<u>町の環境や風景が変わることへの感慨。その場に立ち会えるやりがい。</u></li> </ul>
魅力 (Attraction)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建設業は地図に残る仕事なので魅力を感じ、この仕事を選んだ。</li> <li>○どれ一つ同じ現場はなく、一品受注生産体制が醍醐味。</li> <li>○工事を達成した時の達成感に魅力を感じる。</li> <li>○地図に残り、魅力いっぱい達成感の大きい建設業界の仕事。</li> <li>○<u>図面上で表現されたモノが、現場で施工されていく過程を間近で見れることが最大の魅力。</u></li> <li>○人々の基盤である土木業界に魅力を感じる。</li> <li>○<u>様々な作業工程が積み重なり完成するモノづくりにはたくさんの魅力がある。</u></li> <li>○若手不足と言われる今だからこそ、活躍できるチャンス。</li> </ul>

### ①「誇り」（一般市民に対して胸を張れること）

- 地元の工事への関わり。
- 地域の皆様に、世代を超えて安全・安心を届けられる。

#### 【現場での主な取組】

➡ 災害時における着用物の統一化

### ②「やりがい」（働く人が仕事を通じて満足できること）

- 地図に残るものづくり、形が残っていくことへの達成感。
- そこで暮らす人々の役に立つことへの喜び。
- 責任ある立場、ビッグプロジェクトを成功に導く一員。
- 町が変わっていく場に立ち会えるやりがい。

### ③「魅力」

（一般市民が、働く人の「誇り」や「やりがい」を感じ、前向きな興味を持つこと）

- 図面上のモノが現場で施工されている過程を間近で見れる。
- 様々な作業工程の積み重ね。

工事銘板への工事情報、  
技術者情報の記載

# 具体的な取り組み(案)

## 【今後の展開(案)】

### ① 受・発注者が協働した推進体制の構築

➡ 発注者、受注者(建設業、コンサル、測量、地質)、有識者による  
一体的な推進体制の構築 等

### ② 受発注者問わず、建設業に携わる全ての人々(女性、外国人、若手・ベテラン職員、技能者、事務職、及びその家族)をターゲットとした取組が重要。

➡ インフラツーリズム 等

### ③ 災害時における活動内容の周知促進

➡ 災害時における着用物の統一化 等

### ④ インフラ整備の意義や効果を現場で知ってもらい、関係者の「誇り向上」、 「存在の可視化」に繋がる取組を推進

➡ 工事銘板の充実 等

### ⑤ 土木学会(土木広報センター)との連携

## 事例

### CCi 東京 (Charming Construction's Identity)

#### 【概要】

- ・「東京都魅力ある建設事業推進協議会」
- ・東京都はじめ関東甲信越の各県にも設置。
- ・学識経験者、国・高速道路会社、各種法人、東京都関係局等で構成
- ・建設事業をより魅力あるものにするために、建設現場のイメージアップのほか、見学会や技能者の顕彰等の活動を実施。

#### 【主な活動内容】

- ・技能者の表彰
- ・女性や若手が活躍する建設ステーション(建設現場)の紹介
- ・「東京都建設系高校生作品コンペティション」の後援
- ・「土木の日」イベントの参加 等

## 事例

## CCi 東京 の構成

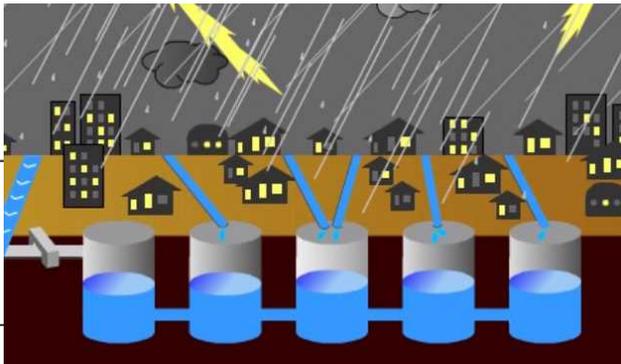
委員長	東京工業大学大学院総合理工学研究所教授 屋井鉄雄
副委員長	一般社団法人東京建設業協会長 東京都建設局長
審査委員長	中央大学理工学部都市環境学科教授 檜山和男
委員	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長 国土交通省関東地方整備局相武国道事務所長 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所長 国土交通省関東地方整備局国営昭和記念公園事務所長 中日本高速道路株式会社東京支社建設事業部長 首都高速道路株式会社プロジェクト部長 独立行政法人UR都市再生機構東日本賃貸住宅本部工務検査部長
	日本下水道事業団関東・北陸総合事務所施工管理課主幹
	一般社団法人日本建設業連合会関東支部長
	一般社団法人東京都中小建設業協会長
	一般社団法人日本道路建設業協会関東支部長
	東京都財務局契約調整担当部長
	東京都財務局技術管理担当部長
	東京都都市整備局企画担当部長
	東京都建設局企画担当部長
	東京都港湾局港湾整備部長
	東京都交通局建設工務部長
	東京都水道局建設部長
	東京都下水道局計画調整部長

## ② 民間との協働による魅力の発信(1)

### 首都圏外郭放水路

◆ 国道16号の地下約50メートルに建設された延長6.3キロメートルの地下放水路

◆ 施設は、各河川から水を取り入れる流入施設、地下で貯水したり、流下する地下水路、そして地下水路から水を排出する排水機場等で構成



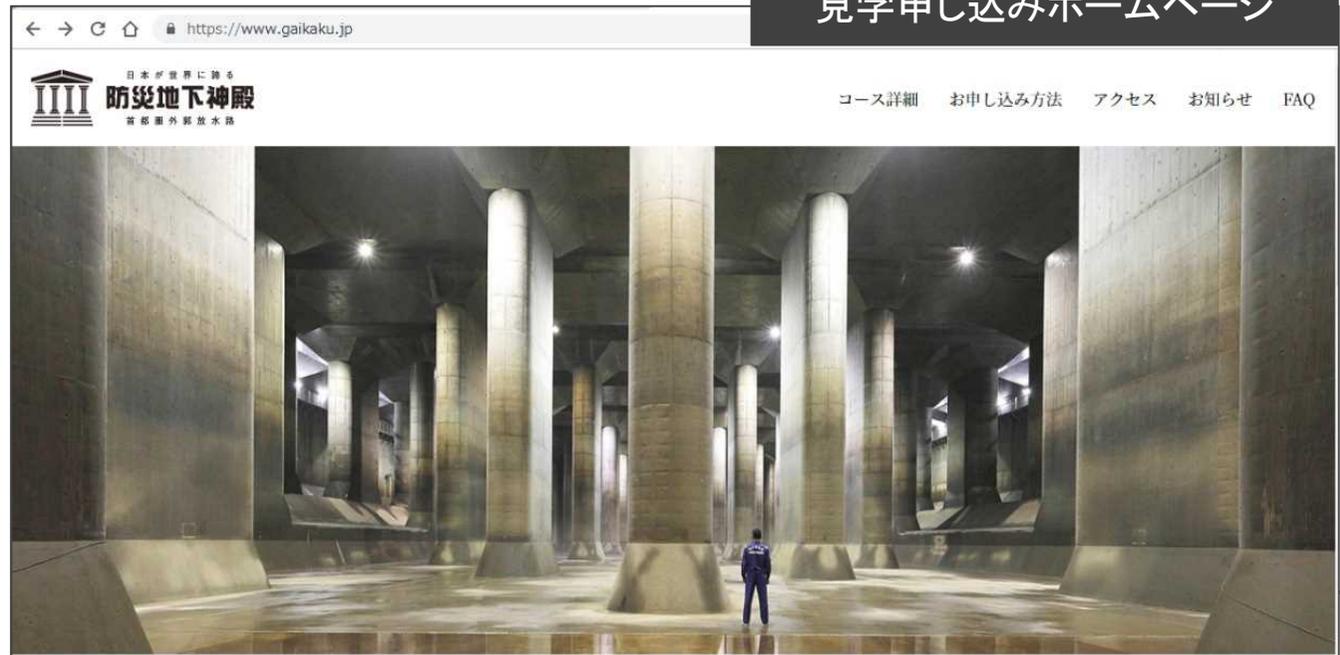
- (1) 雨が降り出す
- (2) 小さな川から溢れた水が流入路にそって首都圏外郭放水路の立坑に流れ込む
- (3) それぞれの立坑に雨水がたまる
- (4) 地下トンネルを伝って水が流れだす
- (5) 排水機場のポンプが稼動する
- (6) 江戸川に排水される

### 施設の見学

#### ◆ 特徴

- ① 東武トップツアーズ社にて運営
- ② 見学は3つのコースいずれかを4~6回転
  - ・立坑体験コース 100分、3000円、20名/回
  - ・ポンプ堪能コース 100分、2500円、20名/回
  - ・地下神殿コース 60分、1000円、50名/回

見学申し込みホームページ



## ②民間との協働による魅力の発信(2)

照明車の活動状況  
(熊本地震 夜間復旧作業支援)



タカラトミー社とのコラボレーション  
商品名:国土交通省 照明車



「TEC FORCE」のロゴマーク

「国土交通省」のロゴマーク

## ②受・発注者が協働した魅力の発信



静岡どぼくらぶ



### 【概要】

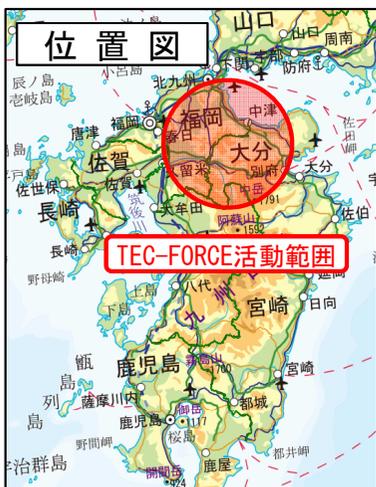
・「静岡どぼくらぶ」は、土木の将来、静岡県未来をともに考え土木の現場でつながる広いサークル。(事務局：静岡県交通基盤部)

・静岡県の土木に関わる人みんながチームの一員という意識を持ち、この仕事に誇りを持ち、胸を張って仕事をすることを「静岡どぼくらぶ」がサポート。

・社会基盤整備に関する動画や、一般の方の動画を紹介しており、You-tubeで動画を配信。

# ③災害時の活動内容の周知促進(九州地方整備局)

- 九州、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国地方整備局、国土地理院から派遣されたTEC-FORCE(7/5~8/16のべ4,095人・日)が河川・道路等の被害状況調査、道路啓開など、2県11市町村において活動。
- 8月8日までに福岡県、大分県の河川、道路等の約1,800箇所では被害状況調査を実施。
- 被災自治体へ復旧工法等を企画・提案、激甚災害指定の見込み公表の早期化に貢献。
- 国道211号において4.5kmを道路啓開を実施。7月14日13時に道路啓開が完了、全線で緊急車両の通行を確保。
- 東峰村内の県道52号について、福岡県からの要請を受け道路啓開を実施。国担当区間の道路啓開が8月8日に完了。
- 二次災害防止に向け、土砂災害危険箇所の緊急点検等 約1,300箇所(21日現地調査完了)のうち約570箇所を支援。



## 自治体所管施設の被害状況調査



河川・道路の被害状況調査(東峰村)



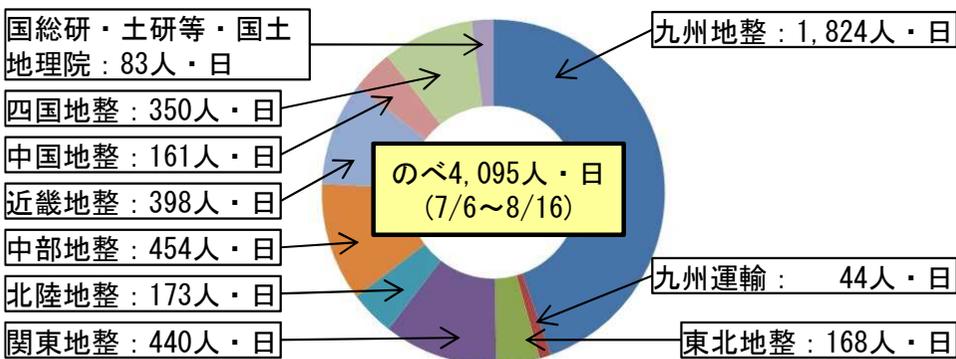
被害状況を報告(東峰村長)

## ドローンによる被害状況調査



ドローンによる流木調査(朝倉市)

## ▼九州地方への派遣人数(のべ人数)



## 緊急車両の通行確保のための道路啓開



国道211号の道路啓開(東峰村)

## 土砂災害の被害状況調査



斜面崩壊箇所の調査(日田市)

### ③災害時の活動内容の周知促進(関東地方整備局)

- 関東地整では、本年度からTEC-FORCE派遣の際に災害対策車両等のオペレーションを行う民間企業等(災害協力団体)のスタッフに専用にビブスを貸与し、着用協力を求めているところ。
- 災害対策作業に従事する民間企業等(災害協力団体)の活動状況についてもTEC-FORCE活動の一環として広報を行うとともに、地域の安全・安心の確保や社会貢献できる誇りを皆で共有。

#### 【現在の取組】

○災害現場へ派遣される際に国土交通省統一ビブスを着用

○横断幕又はマグネット式ネームプレートを車両に貼付



<情報発信>

○災害現場での活動状況を関東地方整備局ホームページ、Facebook、twitterを用いて広報

#### 【新たな取組】

○TEC-FORCE派遣の際に災害対策車両等のオペレーションを行う民間企業(災害協力団体)スタッフ用ビブスを調達し、平成31年度から災害出動の際に着用を協力依頼。

○災害対策車両等を保有する各事務所に事前配布し、災害出動の際に民間企業(災害協力団体)へ貸与。

○九州地方整備局において平成29年度に調達した災害協力団体用ビブスとデザインを統一。

○着用の想定:災害対策車両等の運転・操作及びUAVの操作等のTEC-FORCEに同行し、災害復旧等を行う場合。



### ③ 災害時の活動内容の周知促進(東京都測協)



東京都測協の統一作業服



被災現場での測量技術者達 (広島)

## ④銘板への技術者記載の取組(第2回委員会資料の再掲)

- 国土交通省では、技術者の「誇り向上」や「存在の可視化」を目的として、建設工事に従事した技術者名を銘板に刻銘する取組みを実施中
- 設置対象構造物の拡大や、記載する技術者を下請企業の専門技術者にまで拡大している。
- より効果的な展開に向け、目的とターゲットを明確にし、更に、UI/UXの視点を踏まえた検討が必要

事例:長野県 上高地トンネル



上高地トンネル			
平成28年 7月 完成			
工事概要	トンネル工	L=588m W=6.0(7.0)m	
設計	日本工営(株)	管理技術者 高見沢 滋	照査技術者 柴田 善央
		担当技術者 新井 明夫	担当技術者 平吉 真一
		担当技術者 藤木 明	担当技術者 亀井 隆平
施工(元請)	戸田・金多屋建設共同企業体		
	戸田建設(株)	監理技術者 山内 由紀彦【トンネル】	
	金多屋建設(株)	主任技術者 葉 昌宏【トンネル】	
	矢木コーポレーション(株)	主任技術者 牧野 洋平【防災設備】	
	(株)アイネット	主任技術者 石坂 俊夫【照明設備】	
施工(下請)	【トンネル】		
(一次)	(株)原工業	主任技術者 小林 秀司(トンネル、地盤改良、仮設)	
	奥原重機建設(有)	主任技術者 赤羽 寛利(土工)	
	(株)NIPPO 中南信出張所	主任技術者 鈴木 英明(舗装)	
	東陽興業(株)	主任技術者 古畑 匡弘(仮設電気)	
	中部クレーン(株)	主任技術者 赤羽 政実(クレーン工事)	
	【防災設備】		
	(株)オーケーエンジニアリング	主任技術者 平田 修巳(機器据付・配管配線)	
	(有)ミズ興業	主任技術者 宮坂 寿美雄(土木)	
	ミナモト通信(株)長野営業所	主任技術者 武田 哲(機器試験調整)	
	【照明設備】		
	(有)サトウ電設	主任技術者 佐藤 純一(機器据付・配管配線)	

銘板 裏面

### UI(User Interface) :ユーザーと情報の接点

例)Webサイト上のデザイン・フォントもインターフェイス  
 製品であれば、外観などユーザーの視覚に触れる情報など

### UX(User Experience):それを通じて得られる体験価値

例)Webサイトの場合、デザインが綺麗、見やすいなど

#### ■ UIの観点からの課題

従来の設置箇所は、人目に触れる機会が乏しいため、SNSの活用や道の駅、展望台など多くの人の目に触れる手段・場所を検討

#### ■ UXの観点からの課題

どれだけの人々に見てもらったか、見た側の反応を検証し、目的と効果を踏まえて検討

## ④ 工事関係技術者の名前を刻んだ銘板の取組(関東地方整備局)

- 関東地整では、土木工事の銘板について、運用基準を改定し、対象構造物及び対象技術者を拡大。
- 技術者の軌跡を残すことで土木技術者の誇りとやりがいを伝え、担い手確保に繋がることを期待。
- 現場技術者からも「仕事への大きな魅力と誇りを改めて」実感するなど、好意的な意見が得られた。

### 1. 対象構造物

- ①擁壁②カルバート③橋梁上部工④橋梁下部工⑤トンネル⑥堰⑦水門
- ⑧樋門(樋管)⑨砂防堰堤⑩シェッド⑪大規模法面⑫(揚)排水機場

### 2. 対象技術者

【設計】会社名、設計責任者氏名

【施工】元請会社：会社名、監理(主任)技術者氏名、現場代理人氏名、担当技術者氏名

下請会社：会社名、専任の主任技術者氏名

### 3. 銘板記載事項(イメージ)

600mm		
構造物名称 工事名称 工期 (又は完成年月) 発注機関名 諸元 適用基準  設計基準強度 水セメント比 コンクリート工場名 設計会社名、設計責任者氏名 施工会社名、監理(主任)技術者氏名 技術者氏名(施工会社名)	○○高架橋 ○○高架橋下部工事 自)平成○年○月○日 至)平成○年○月○日 (又は平成○年○月) 国土交通省 関東地方整備局 ○○事務所 高さ ○m、幅 ○m 道示(H○年) 杭基礎設計便覧(H○年) コンクリート標準示方書(H○年) ○○N/mm <sup>2</sup> ○○% ○○コンクリート(株) ○○コンサルタント(株) ○○ ○○ ○○建設(株) ○○ ○○ ○○ ○○(○建設(株)) ○○ ○○(○土木(株)) ○○ ○○((株)○組)	400mm
	○○建設(株) ○○ ○○ ○○ ○○(○建設(株)) ○○ ○○(○土木(株)) ○○ ○○((株)○組)	

新規追加項目

# ④ 電子銘板の取組事例(長崎県)


本文へ  
 色合い  白  黒  青 文字サイズ  標準  拡大 Googleカスタム検索

ホーム  目的で探す  分類で探す  組織で探す  地方機関で探す  カレンダーで探す  地域で探す

ホーム > 分類で探す > まちづくり > 道路・交通 > 道路改良事業 > 百花台公園各所に「電子銘板」を設置しました

 [このページを印刷する](#)

- メニュー
- ▶ 道路改良事業
  - ▶ 道路維持事業

## 百花台公園各所に「電子銘板」を設置しました

2018年1月15日更新

### 〔電子銘板の目的〕

県立百花台公園の整備において、建設工事に従事され尽力された方々に敬意を表し名前を残すことを目的に「電子銘板」を作成しました。

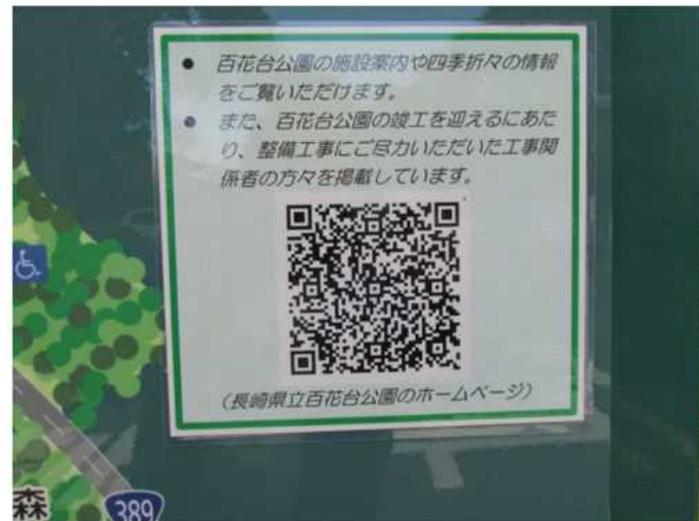
### 〔電子銘板の内容〕

・閲覧方法：公園各所に設置している「百花台公園案内図」に記しております電子銘板のQRコードを読み込むと百花台公園のHPに移動します。各種項目がございますので、「百花台公園整備工事関係者名簿」を選択し、ご閲覧下さい。

- ・協力会社：3 1 社（土木工事業、造園工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業等）
- ・関係者人数：7 9 名（各職種の現場技術者、型枠工、鉄筋工、とび工等）
- ・管理者：長崎県及び指定管理者

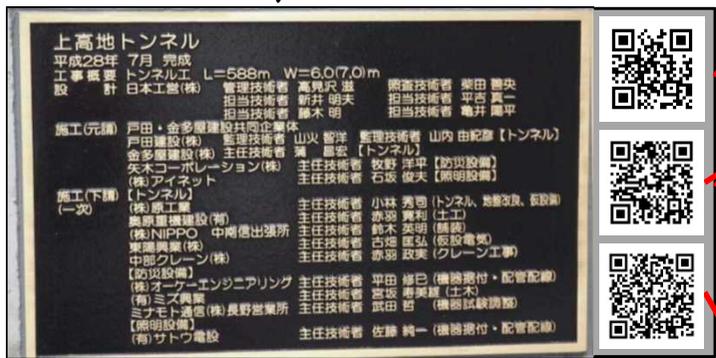
[電子銘板 \[PDFファイル/516KB\]](#)

下記のQRコードをスマートフォン・タブレットから読み込みますと、百花台公園のHPに移動します。



# ④QR銘板(仮称)の取組の提案(素案)

・従来の銘板にQRコードを追加し、PRサイトに誘導  
 ・構造物付近のほか、道の駅、展望台、管理所の駐車場等にも設置



・当該社会資本ができる前の様子を動画と音声で紹介(災害・事故・渋滞・峠道)



・工事の様子を動画で紹介



・工事に従事した会社名や関係者名を動画(エンドロール)や静止画で紹介



# ⑤土木学会(土木広報センター)との連携

## 土木広報大賞

### 【概要】

- 土木の役割・意義・魅力について広報を行っている活動または作品などで他団体の模範となるものや他団体への展開が期待されるものを表彰している。
- H30.11.12に表彰式を実施し、最優秀賞1件、優秀賞2件を含む16件を表彰した。

### ◎最優秀賞



### ◎優秀賞



### ◎優秀賞

団体名：一般社団法人 静岡県建設コンサルタンツ協会	
代表者氏名：森崎祐治	所在地：〒420-0858 静岡市葵区伝馬町9番地の7 塚本ビル2階
担当者情報	氏名：吉野 通範 所属部署：静岡県建設コンサルタンツ協会 技術研究部
	電話：054-272-3003 E-mail： <a href="mailto:info@sz-cca.com">info@sz-cca.com</a>
土木広報活動または作品名：CON!CON! 富士山の体積をはかる「アイデア」大募集！	
広報活動または作品の概要	
<p><b>富士山の体積をはかる！</b> 静岡県建設コンサルタンツ コンテスト 「アイデア」大募集！ </p> <p>【動機】 建設コンサルタンの仕事は一般への認知が低く、仕事内容を伝えようと思っても表現が難しい。そこで、「富士山の体積をはかる」という課題を投げかけて、若い世代を含む一般の皆様に仕事を紹介するきっかけづくりを行った。</p> <p>&lt;コンテストの概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 富士山の体積をはかる「アイデア」を競い合うコンテストを開催</li> <li>● 年齢問わず、個人でもチームでも応募が可能</li> <li>● アイデアの表現方法も自由。YouTubeを使った動画で応募も可</li> </ul> <p>【広報活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ポスター・チラシ・動画を使って「富士山のアイデアをはかるアイデア大募集！」を告知 ポスター：①静岡県内の電車にて掲出 ②静岡県内の教育機関・公共施設等に配布 募集動画：静岡県建設コンサルタンツ協会からの「挑戦状動画」を作成し、話題を拡散 ※静岡県が実施する「静岡どぼくらぶ」と連携し、YouTubeにて配信</li> <li>2. コンテストの開催をメディアへリリースし、協会をあげて取材に対応 ①テレビ局への「挑戦状動画提供」 ①テレビ取材の対応 ②ラジオ出演 ③新聞各紙への取材対応</li> <li>3. 表彰式を開催し、入賞作品を発表・公開</li> <li>4. 実際に富士山の体積を算出した「回答動画」を発表・公開し、動画を通じて仕事内容を紹介</li> </ol> <p>  </p> <p>電車内掲出ポスター 募集動画 <a href="https://youtu.be/9x8iqVLqdtE">https://youtu.be/9x8iqVLqdtE</a> 回答動画 <a href="https://youtu.be/ItAPx0yfsUM">https://youtu.be/ItAPx0yfsUM</a></p> <p>【工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 静岡県建設コンサルタンツコンテスト＝CON!CON!（コンコン）という愛称・デザインで訴求した。</li> <li>● 応募締切日を2月23日（富士山の日）とした。</li> <li>● オープンしたばかりの静岡県富士山世界遺産センターにて表彰式を行った。</li> <li>● 募集内容を「アイデア」とし、親子や小学生が参加できる企画とした。</li> </ul>	

広報名	どぼくカフェ
-----	--------

団体名	フォーラム・シビル ・コスモス
-----	--------------------

広報名	ワクワク土木土木 デミーとマツの 驚き土木体験イベント
-----	-----------------------------------

団体名	噂の土木応援チーム デミーとマツ
-----	---------------------

広報名	CON!CON!富士山の体積を 測る「アイデア」大募集
-----	--------------------------------

団体名	(一)静岡県 建設コンサルタンツ協会
-----	-----------------------

# 取組むべき施策と具体の行動計画(案)

	概念	ターゲット	施策	行動計画
誇り (Pride)  やりがい (Motivation)	対内的 (当事者)	建設技術者 技能者 (若手・ベテラン)	処遇の改善(休暇・給与)	
			社会貢献活動の打ち出し 災害時の活動のPR	・災害時の着用物の統一化
			工事銘板の充実 (誇り向上・存在の可視化)	・工事概要、従事者等を エンドロールで掲載 ・QRコード、HPの活用
			工事書類の簡素化、甲乙対等	
			就労環境の改善	・更衣室、快適トイレの義務化
魅力 (Attraction)	対外的 (第三者)	一般大衆 学生	先端技術(ICT・ロボット・AI)の打ち出し	
			社会貢献活動の打ち出し	・復旧活動のドラマ化
			就労環境の改善	・通勤・帰宅時の着替え
			民間との協働 戦略的な広報  他団体の模範となるものの表彰	・インフラツーリズム等 ・団体毎の活動をSNSで紹介 ・著名人の起用

# 仮囲いデザインアイデアコンテスト 優秀賞作品の採用と除幕式 ～全建協連 KOJICHUプロジェクトより～



全国建設業協同組合連合会

令和元年5月21日15時～ 国土交通省

第3回建設業で働く人の誇り・魅力・やりがい検討委員会 資料

## 現場の仮囲いこそ建設業のブランディングのための「白いキャンバス」

「一緒に考えよう KOJICHU プロジェクト～学生を対象とした仮囲いデザインアイデアコンテスト」の最終選考会（H31.2.14開催）で入賞した7作品の内、優秀賞を受賞した作品が工事現場の仮囲いに実際に採用され、オープニングセレモニー（除幕式）が開催された。

- 全国建設業協同組合連合会会長・青柳剛  
「デザインの感覚と、建設業は変わっていきそうだ、という分かりやすいメッセージが大事。この除幕式からどんどん広がると思う。」
- 審査委員長・古谷誠章氏／建築家 早稲田大学教授 日本建築学会会長  
「仮囲いは現場と社会を結ぶインターフェイス。学生のアイデアを汲み上げ、実現できたことが意義深い。」
- 群馬日建工科専門学校「チーム・ナスパティ」  
「建築機材や働く車などを動物の大きさと比較し、建設業に興味を持って携わるきっかけになってほしい。」

### 【オープニングセレモニー（除幕式）概要】

日時：2019年5月16日（木）10時45分～

工事名：八十二銀行 中野支店新築工事（長野県中野市三好1丁目 中央公民館前）

施工：中野土建株式会社

内容：優秀賞受賞 群馬日建工科専門学校「チーム・ナスパティ」の作品の採用

除幕：「チーム・ナスパティ」メンバーと地元中野市の中野マリア幼稚園園児

